



駿河台大学 同窓会

SURUGADAI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

駿河台大学同窓会ホームページ <https://www.surugadai.ac.jp/dousou/>

2021年度 駿輝祭前夜祭及び駿輝祭オンライン開催について

駿輝祭前日の10月29日(金)に、駿河台大学同窓会・父母会共催駿輝祭前夜祭特別講演会を、10月30日(土)に駿輝祭をオンライン配信にて開催します。

駿輝祭前夜祭特別講演会 (駿河台大学同窓会・父母会共催)

開催日時：2021年10月29日(金)
開催方法：オンライン配信

例年、駿輝祭と同日に、著名人をお招きして開催していた講演会を、今年度はオンライン配信にて開催します。詳細が決まりましたら、同窓会及び駿河台大学ホームページ等でご案内いたしますので、奮ってご参加ください。

第35回 駿輝祭

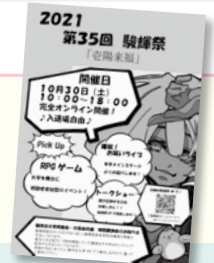
開催日時：2021年10月30日(土) 10:00~18:00

開催方法：オンライン配信

企画詳細等につきましては、駿輝祭実行委員会ホームページ及びTwitter等で順次ご案内させていただきます。

2021年度 駿輝祭公式ホームページ(運営：駿輝祭実行委員会)
<http://surugadaisyunki.sakura.ne.jp/>

駿輝祭公式Twitter(運営：駿輝祭実行委員会)
https://twitter.com/syunki_35



《お願い》

駿輝祭前夜祭・駿輝祭ともに無観客でのオンライン開催となりますので、当日はキャンパスへの来訪はご遠慮ください。

「2020年 東京オリンピックに出場して」 矢澤 亜季さん(2014年現代文化学部卒)



コロナウイルスにより1年延期となった東京オリンピックが2021年7月23日に開幕となりました。

私はカヌースラローム競技に出場し、27人中19位という結果で終わりました。

結果としてはメダルへは届かず悔しい結果になりましたが、まずはこのようなコ

ナ禍の厳しい状況の中でオリンピックが東京で開催され、無事終わられたことに感謝しています。

オリンピックが1年延期となり、練習場所も限られる中での1年間はとてもメンタル、マインドコントロールが難しかったと感じています。

しかし、その中でも同じ競技の仲間達が頑張っている姿をSNSで見ると「私も頑張ろう」と活気づけられていました。

今回のオリンピックは前回のオリンピックとは違い無観客となり、会場の雰囲気はオリンピックという感じはしませんでした。大会運営の

方々やボランティアの皆さんが会場を盛り上げてくださったことがとても印象に残り嬉しかったです。

また、TV画面の前で沢山の方々が連日応援してくださり、無観客ではありましたが心強い声援が届いていました。

東京オリンピックは終わってしまいましたが、私はもう少し競技の道を進みたいと思っています。

今後はW杯や世界選手権、さらには3年後のパリオリンピックでしっかり成績を残せるように今後も頑張っていきたいと思います。

引き続き応援よろしくお願いたします。



～卒業生からの寄稿～ 本田 達也さん(2003年経済学部卒)

私は平成15年3月の卒業生で経済学部・経営情報学科に所属しておりました。本田達也と申します。いつも後輩達の活躍等、楽しみに拝見しております。近年では箱根駅伝で、関東学連選抜として駿河台大学の学生が頑張っている姿を陰ながら応援しております。チームとして参加されることを待ち遠しく感じております。

さて、現在私は神奈川県で教員をしております。昨年度より母校であります県立平塚農商高等学校(旧平塚商業高等学校、旧平塚農業高等学校)で勤務をしております。本校は一昨年より合併し、新しい学校となりました。それに伴い校舎や設備も新しくなり、充実した学校生活が送られています。思い返せば22年前も駿河台大学のメディアセンターの新しい施設、情報設備にあこがれを抱き受験に臨んだことを今でもはっきりと覚えています。

当時はパソコンが使えるというだけで重宝がられた時代ではありましたが、専門的な知識に乏しく、もっと設備等を有効に活用できていればと悔やんでおります。そんな私も生徒に情報処理やプログラミングを教えるようになり、専門的なことを教える立場になりました。また、商業という教科柄、マーケティングや簿記、ビジネスに関することを教えておりますが、その中では苦節10年、民間企業での経験やフリーターでの経験が生かされていると感じております。

大学を卒業後は教育法の講師であった梅澤源良先生の紹介で埼玉県内の高校で講師をさせていただきました。合わせて飯能市のアレックスフィットネスクラブではスイミングコーチとトレーナーとしてアルバイトさせていただきました。その後は地元神奈川県に戻り、いろいろな職業に携わってきましたが、振り返ってみると、多くの方々の支えがあり、今の自分があると思います。大学時代も初めて親元を離れ、洗濯物の大変さや料理を作ることの大変さ、生活費を稼ぐためにアルバイトをしな

がらの勉強との両立。当たり前前のが当たり前で無くなった生活で

した(今は寮があって羨ましいですね)が、そのような状況下でも頑張れたのは、当時所属していたラクロス部の仲間たちの存在があったからだと思えます。現在でも数年に1度程度ですが同期数名とは当時の思い出話に花を咲かせております。一生の宝物だと思います。

私自身、もともと勉強が好きではありませんでしたが、自分が今まで生きてきた経験を反面教師(しくじり先生?)として生徒に伝え、親への感謝や仲間への感謝を忘れない心をもってもらいたいと生徒と日々奮闘しております。母校で夢であったバスケットボール部の指導もさせていただき、少人数でチームとしてもまだまだですが、生徒、そして後輩たちの日々の成長を目の当たりにできるやりがいのある仕事だと思っております。

このコロナ状況下で昨今の教育環境もオンライン授業の導入やテレワーク等の導入、働き方改革云々、目まぐるしく変化しております。皆様におかれましてご自愛いただき、今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



神奈川県立平塚農商高等学校の新しい校舎(商業教育棟)



高校入学当時と新旧比較(同じ場所にて)



顧問をしているバスケットボール部の生徒と

2021年度 同窓会総会オンライン開催報告

新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、2021年度の同窓会総会は、昨年度と同様にZoomによるオンラインにて開催いたしました。

6月26日(土)13時からの同窓会役員会に引き続き、14時から同窓会総会が開催されましたので、以下のとおりご報告いたします。

※同窓会総会資料は、同窓会ホームページからご覧いただけます。
https://www.surugadai.ac.jp/dousou/topics/meeting_order2021.pdf

2021年度 同窓会総会次第

1. 同窓会会長挨拶 新井克明会長
2. 同窓会名誉顧問挨拶 大森一宏学長
3. 幹事紹介
4. 議 事(1)～(5)

1. 同窓会会長挨拶 新井克明会長

2021年度の同窓会総会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。昨年に続きオンライン開催となりましたが、対面とほぼ同じように皆様と顔を合わせてお話できることは、時代の変化を感じるとともにこのような形が一般化したのだと、思いを新たにしております。

一方で、我が母校駿河台大学につきましては、引き続きコロナの対応の中で厳しい学びの環境が継続しております。2021年度からは、対面とオンラインでのハイブリッド型での講義が始まっていますが、まだ、学生が完全に飯能のキャンパスに集うことがかなわない状況が続いております。

同窓会では、昨年度、このような厳しい状況のなかで、どのような支援ができるのかを考えて活動をしてまいりました。本日も議事の中でご報告いたしますが、今年度についても学生への支援が中心の活動を予定しております。母校あつての同窓会であり、同窓会あつての母校の発展という思いの中で、皆様にも継続して、コロナの状況の中で苦しむ、後に続く準会員たる現役学生の支援にご協力をいただきたいと思います。

なかなか新たな活動が具体的に進められない苦しい状況が続いておりますが、コロナを理由として活動が縮小均衡、あるいは思考停止して活動を行わないということはなく、同窓生同士の親睦、同窓会活動の発展を念頭に、継続して活動を前に進めていきたいと考えております。2021年度につきましても、皆様のご協力あつての同窓会活動になりますので、ご支援のほど、どうぞよろしく願いいたします。

2. 名誉顧問挨拶 大森一宏学長

昨年と同様、オンラインによる総会の開催ということで、本日は直接お目にかかることはできませんが、画面を通しまして、ご挨拶を申し上げます。

同窓会の皆様には、日頃より学生の教育・生活・就職に関わるさまざまな活動へのご支援とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

コロナ禍の中における大学ですが、おかげさまで、2021年度においても入学定員を超える入学者を確保し、引き続き収容定員を満たすことができました。また、就職率については、94.5%とコロナ禍による経済状況の悪化などを受けて、昨年の数値を若干下回りました。とはいえ、この数値は埼玉県の平均値を上回り、逆境の中で健闘したと評価してよいと思います。さらに、中途退学の防止については、退学者データの分析・活用を行いながら、経済的支援の充実、学生対応力の強化などに取り組んだ結果、前年度比10人減となりました。

こうした成果をふまえて、本学では引き続き教育の質の向上、就職支援や学生生活支援の強化などに取り組んでおります。とりわけ授業については、十分な感染防止措置をとりながら、可能な限り対面型での授業実施を基本としていますが、受講者が一定数を超える授業などについては、eラーニングシステム「Moodle」などを利用したオンライン型、もしくは対面型とオンライン型を組み合わせたハイブリッド型の授業を導入して、教育の質の維持・向上に努めております。なお、通学圏内に戻るが困難な事情のある学生や学生本人または同居家族に基礎疾患等を有する学生等に対して、所定の手續きにより授業形態の対応を含めて可能な限り特例措置を講じております。

さて、コロナ禍の中、いまだ大学の行事などには制約のかかる状況が続いておりますが、本年は、昨年開催できなかった入学式を感染予防に配慮した上で、4月3日に執り行いました。また、2年生と編入学生を対象に、改めて、本学入学をお祝いする機会として、学生のみに参加を限定して、4月4日に入学式を挙行しました。

課外活動については、遠征や練習試合を中止・延期するなど活動に制約のかかる状態が続いておりますが、その中であつて、高円宮杯日本リーグ年間表彰報告会において、女子ホッケー部が初のフェアチーム賞を受け、男子ホッケー部からは佐川礼選手(法学部2年)が最優秀新人賞と優秀選手賞のダブル受賞に輝きました。また、関東インカレでは後野詩衣菜選手(法学部4年)が女子1部400mで優勝するなど陸上競技部と駅伝部が活躍いたしました。また、駅伝部(男子)は、着実に力をつけ、箱根をねらえるところにまでできておりますが、本年度はさらに駅伝部に女子部門を創設し、本格的に女子ランナーを育成していくことになりました。

このように、コロナ禍の中にあつても、教育やスポーツなど、同窓会の皆様のご支援に支えられて、活動の継続が図られますとともに、新しい取り組みも始まっています。同窓会の皆様におかれましては、今年度も引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、駿河台大学同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

本日はどうもありがとうございました。

3. 幹事紹介

同窓会会則により、特別会員(駿河台大学教職員)の中から役員会において委嘱された幹事6名が紹介されました。

(2021年度)

役 職	氏 名	卒業年	学 部
会 長	新井 克明	2000年卒	文化情報学部
	副会長	雷岡 勇哉	1992年卒 法学部
		廣瀬 尚	1993年卒 法学部
会 計	岡部 浩一	2008年卒	経済学部
	飯塚小姫子	2001年卒	文化情報学部
会計監査	※木村 亮平	2012年卒	文化情報学部
	朝田 淳	2003年卒	文化情報学部
委 員	船津丸 仁	2006年卒	経済学部
	桐生 岳	1993年卒	法学部
	市川 紀子	1995年卒	法学部
	中島 俊夫	1995年卒	法学部
	長嶋 亮吉	1995年卒	経済学部
	武富 倫代	1996年卒	法学部
	渡部 成人	1997年卒	法学部
	三枝 桂子	2006年卒	現代文化学部
	林 浩一	2008年卒	法学部
	菅家 皓	2017年卒	メディア情報学部
※白坂 優太	2020年卒	メディア情報学部	
役 職	氏 名	所 属	
幹 事	伊藤 雅道	副学長(入試広報担当)	
	※城井 光広	副学長(就職担当)	
	狐塚賢一郎	副学長(学生支援担当)	
	朴 昌明	副学長(教務担当)	
	雷 光一	キャリアセンター事務部長	
	佐藤 功一	学生支援部長	

※印は新任

4. 議 事

2021年度総会議事に先立ち、新井同窓会長より、総会案内及び議決権行使はがきの発送に際し、誤った内容を発送する不手際があつたことに対し事案概要及び対応内容について説明がなされ、ご迷惑をお掛けした会員の皆様へ謝罪の言葉が述べられました。

なお今回の議事については、同窓会ホームページ及び同窓会報にてお知らせしている通り、事前にご覧いただいていることを前提に進行されました。

各議事に関する質疑については、Zoomのリアクション(挙手)ボタンにより、ミュートを解除し、画面表示にてご発言いただきました。

(1) 2020年度事業報告及び収支決算報告について

2020年度事業報告の冒頭に、新井同窓会長より、コロナ禍の状況の中で厳しい同窓会運営であつたこと、学生特別支援についても、同窓会側からの企画提案がかなわず、支出が小規模となった旨のご報告がありました。

①同窓会報の発行

同窓会報の第39号(10月1日発行)、第40号(4月1日発行)を発行。

②大学への卒業寄付

2019年度卒業生から大学への卒業記念品として、サイネージボード(右の写真)を5台贈呈。



③同窓会総会の開催

5月16日(土) ホテル・ヘリテイジ飯能sta.において同窓会総会及び懇親会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から開催を取りやめたため、キャンセル料が発生。

④ホームカミングデーの実施

新型コロナウイルス感染症予防の観点から駿輝祭が開催できなかったため、実施せず。

⑤同窓会ホームページの管理

同窓会員への情報提供ツールとして、ホームページで最新情報や会報誌(PDF)、写真等を随時更新。

⑥支部会補助金

新型コロナ感染症予防の観点から、支部会を開催せず。

⑦同窓会寄附講座

準会員の応援、大学に対する援助及び同窓会のPRを目的として、「森林文化Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)・「まちづくり実践」(2単位)の2授業を同窓会寄附講座とし、実施経費「森林文化Ⅰ・Ⅱ」「まちづくり実践」を寄付。

なお、例年開講していた「インターンシップⅠ」(4単位)は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、開講せず。

⑧給付奨学金事業費

同窓生子女を対象とした給付奨学金制度。2020年度は、3件の申請があり、各々入学初年度の授業料の半額を同窓会から給付奨学金として支給。

⑨準会員の各種検定試験受験料補助費

各種検定試験等を受験する学生に対して、受験料の半額を補助。

⑩準会員との交流事業費

キャリアセンターが実施する卒業生を活用した就活支援行事の実施経費を支援。各学部は実施予定の行事が新型コロナウイルス感染予防の観点から、開催中止。

⑪広告協賛費

年間を通じて学内(大学会館)で掲出している告知用懸垂幕のうち、卒業生の活躍を紹介する掲示を中心に同窓会から年間4件を掲出。

⑫活躍する同窓生への応援費

該当者なし。

⑬活躍する準会員への応援費

該当者なし。

⑭新型コロナウイルス感染症対応学生特別支援費

昼食補助(写真左)及びアルコールスタンド(写真右)寄贈により支援。



⑮役員会の開催等

以下のとおり役員会を開催。

- ・第1回役員会(2020年5月16日・オンライン会議)
- ・第2回役員会(2020年7月11日・オンライン会議)
- ・第3回役員会(2020年12月19日・オンライン会議)
- ・第4回役員会(2021年3月13日・オンライン会議)

その他

- ・2010年度から開始した卒業生結婚祝電サービスの2020年度中の利用は、1件(累計34件)。
- ・2012年1月から開始された「学費支援基金奨学金」の貸与者は、8名(2020年度未現在)。

2020年度収支決算報告について、市川会計委員より、公表させていただいている資料のとおりである旨の報告がありました。

(2)2020年度監査報告について

船津丸会計監査委員より、監査報告書のとおり監査は適正に終わり、決算が行われた旨の報告がありました。

(3)2021年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

新井同窓会長より、今後の状況の見通しが立たない中ではありますが、準会員(学生)の学びの支援に全力を尽くし、前年度実施の事業を継承した事業計画(案)について説明がなされました。

続いて、木村会計委員より、2021年度収支予算(案)について説明がなされました。

(4)次年度同窓会総会における事業報告・決算報告・監査報告について

船津丸会計監査委員より、今年度、すべての議案が決議事項になっておりましたが、適正性の判断が難しく、監査報告で適正性を確保(保証)していることから、次年度以降は事業報告、収支決算報告、監査報告は従来の決議事項ではなく、報告事項としたい旨の提案がなされました。



オンライン総会の模様

※オンライン総会開催に先立ち、参加者の皆様から記録用に録画することについてご了承をいただいております。

(5)役員改選(案)について

委員の交代及び新任役員の白坂優太さんについてご紹介があり、白坂新委員よりご挨拶をいただきました。白坂新委員は学生時代に駿輝祭実行委員の委員長として、ご活躍されておりました。



白坂 優太委員
(2020年メディア情報学部卒)

皆様、はじめまして。今年度から同窓会役員になりました、白坂優太と申します。学生時代は学園祭実行委員会に所属しており、大学を盛り上げて参りました。

今回、同窓会役員の方とご縁があり、同窓会役員へのお声掛けをいただきました。

役員となったばかりで分からないことばかりですが、これからは責任ある立場としての行動を心掛け、駿河台大学と学生の為になれるよう頑張り、盛り上げて参ります。皆様、どうかよろしくお願いたします。

各議案について、昨年度と同様、はがきによる議決権行使をしていたらいる会員の方の票と、オンライン総会に参加していただいている会員の方からの票を集計し、賛成多数により可決しました。

終わりに【新井同窓会長より】

本日は14時より1時間15分にわたり慎重なご審議をいただき、誠にありがとうございました。引き続き同窓会役員会といたしましても、しっかりと各事業を執行していくとともに、来年の総会こそは、皆様と対面でお会いできることを願っております。

次年度総会は、現状では5月に対面での開催準備を進めております。一方で、本日は北海道支部長もご出席いただいておりますように、遠方の方もオンラインであればご参加いただけますので、来年度以降の総会につきましては、対面とオンライン併用での環境整備を進めたいと考えております。

また、昨年度から導入しております、事前のはがきによる議決権行使書もたくさんの方にご関心を持って頂いていることが分かりましたので、次年度以降も継続してまいります。

母校の状況はご報告した通りですが、同窓会会員の皆様への支援なくしては大学の発展もございません。皆様には、同窓会、そして母校への継続したご支援をお願いして、総会を締めさせていただきます。本日は、ありがとうございました。

2021年度 プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞及びティーチャー・アワード受賞者のご紹介

駿河台大学では、教育・研究・社会貢献活動等において顕著な業績を挙げた本学の学部及びセンター所属教員に対し、「プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞」及び「ティーチャー・アワード」の2部門に分けて表彰を行っています。

今年度は、以下の3名の専任教員が、本学への多大な貢献が評価され、受賞となりました。

【プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞受賞者】

所属	氏名(役職)	専門分野
心理学部	かわべ ゆずる 川邊 譲(教授)	臨床心理学・犯罪心理学

【ティーチャー・アワード受賞者】

所属	氏名(役職)	専門分野
経済経営学部	むらかみ だいすけ 村上 大輔(准教授)	文化人類学
心理学部	こんどう いくよ 近藤 育代(准教授)	臨床心理学



左より、大森学長、川邊教授、近藤准教授、村上准教授

【問合せ先】 駿河台大学 学務企画課

TEL : 042-972-1141 E-mail : gakumu@surugadai.ac.jp

【受賞者からのコメント】

◆プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞受賞者



かわべ ゆずる 川邊 譲(心理学部 教授)

素晴らしい業績をお持ちの先生の多い中、本受賞に与りましたことは望外の喜びです。私の仕事は、学内においても国や学界においても縁の下を支えるようなものが多いのですが、そうした仕事に目を向けていただいたことは大変有難く、今後の励みになります。ありがとうございました。

◆ティーチャー・アワード受賞者



むらかみ だいすけ 村上 大輔(経済経営学部 准教授)

このたびの「ティーチャー・アワード」の受賞、心から嬉しく思います。現代文化学部から経済経営学部へと所属が変わるなかでも、学部の教員仲間から支えてもらいながら、自分の専門である文化人類学・チベット学の研究活動が続けられたことが評価されたのだと思っています。これからも学生たちに「学ぶ楽しさ」を伝えていければと思います。



こんどう いくよ 近藤 育代(心理学部 准教授)

このような賞をいただき、誠に有難うございます。教職員の皆様方、学生により良い支援を届けたい、教育の質を向上させたい、という想いのもとに、昨年度は微力ながら研修講師を務めさせていただいたことを嬉しく思っております。私自身も多くを学ばせていただきました。受賞を励みに、今後も研鑽を積んで参ります。

同窓会事務局より

【重要】同窓会では、卒業生の「人材バンク」機能を構築していくことに取り組んでいます。準会員(在学生)に対する講座の講師役や就職座談会などへの支援をお願いする際に活用していきたいと考えています。後日、同窓会や大学関係者より事前に「人材バンク」への登録可否を伺うご連絡をさせていただく場合がございますので、予めご承知いただくとともに登録にご理解ご協力のほどお願いいたします。

卒業生子女への学費支援

同窓会では、本学卒業生への還元の一環として、卒業生の子女が母校(駿河台大学)へ入学する場合に、入学金免除制度(大学制度)に加え、同窓会から「初年度授業料の半額」を給付しています。給付型奨学金です。返還の義務はありません。

制度の概要は以下のとおりです。

- (1) 支給要件：以下全ての要件を満たす場合に支給対象とします。
 - ① 本学同窓会員の子女であること。
 - ② 駿河台大学が設置する学部新たに入学する子女であること。ただし、編入学及び再入学の場合は当制度の対象としない。
 - ③ 本学同窓会員が保証人であり、同窓会員又はその配偶者が当該子女を扶養していること。
- (2) 給付額：入学時初年度に納付すべき授業料の半額相当額を給付します。
※参考 2021年度の場合：367,500円
(初年度授業料735,000円の半額)
※入学した初年度に限り給付するものです。継続はありません。
※特別奨学生制度などにより初年度授業料が免除されている場合は対象となりません。
- (3) 手続方法：保証人である同窓会員が申請書に必要事項を記入の上、添付書類を添えて同窓会事務局(学生支援課内)に郵送してください。
- (4) 提出期間・振込予定日：
提出期間：2022年4月1日(金)～4月30日(土)
振込予定日：6月末日
※ただし、学費等月納付制度を利用される場合は、振込予定日が別途対応になります。
申請書類等、詳細は同窓会ホームページをご覧ください。

同窓会報への原稿募集について

1ページでご紹介しているように、同窓会では、卒業生の方からの寄稿を募集しております。本学在学中の思い出や皆様の近況、身近な出来事、お住まいの地域のふるさと自慢等について、以下の要領にて、自由なテーマで寄稿していただけます。

1. テーマ(タイトル) 自由
2. 字数 800～1200文字程度
3. 写真(画像データ)があれば2～3点
4. 送付期限：2022年2月10日(木)
5. 送付先：〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698
駿河台大学同窓会事務局(学生支援課内)
TEL 042-972-1101/FAX 042-972-1149
E-mail dousou@surugadai.ac.jp



読み終えた本 DVD で募金ができます

駿河台大学古本募金

— Book de 募金 — とは

皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただき、その査定金額を駿河台大学に寄付する仕組みです。集まった募金は駿河台大学の学費支援基金として大切に役立てます。

——— 皆様のご支援をお待ちしております。

申込受付から査定・報告、および送金は「古本募金きしゃぼん」(運営:嵯峨野株式会社)が担当します。5点から送料無料、宅配業者が伝票をもって引き取りに伺います。古本募金1回のご参加につき、きしゃぼんからも100円が寄付されます。

ご寄付のお申込み (5点以上から送料無料でご自宅からご寄付頂けます)

ホームページより申込 <http://kishapon.com/surugadai/>
(運営協賛会社の嵯峨野株式会社のホームページとなります)

お電話での申込 ☎ 0120-29-7000

(受付時間 平日9:00～18:00)

オペレーターに団体ID¹⁴とお伝えください。



皆様のご協力をよろしく申し上げます。

<お問合せ先> 駿河台大学 財務課 TEL : 042-972-1191

E-mail : zaimu@surugadai.ac.jp

訃報

- 本学名誉教授 廣野行雄様におかれましては、8月1日(日)にご逝去されました。謹んでお知らせいたします。

支部会連絡先

北海道支部会	上見国敏さん (1995年 経済学部卒) ☎0154-24-3811
新潟支部会	大平一貴さん (1995年 経済学部卒) ☎090-7813-2575 barohhira26@gmail.com
長野支部会	今井翔大さん (2015年 法学部卒) nagano.sundai@gmail.com
山梨支部会	塩澤清志さん (1991年 法学部卒) dousou@surugadai.ac.jp (同窓会事務局宛)
群馬支部会	桐生 岳さん (1993年 法学部卒) ☎090-8840-6123 sundai-gunma@answerwind.com
沖縄支部会	崎原正平さん (2009年 法学部卒) dousou@surugadai.ac.jp (同窓会事務局宛)